

T-43



残留者検知センサー のご提案



竹中センサーグループ

竹中エンジニアリング株式会社

残留者検知センサーのご提案書

PR-900



《目次》

1. 残留者検知センサーの市場(P.1)
2. 概要(P.2)
3. 残留者検知センサーの特長(P.3~P.4)
4. 適応オプション(P.5)
5. センサー機器設置例(P.6)



竹中センサーグループ

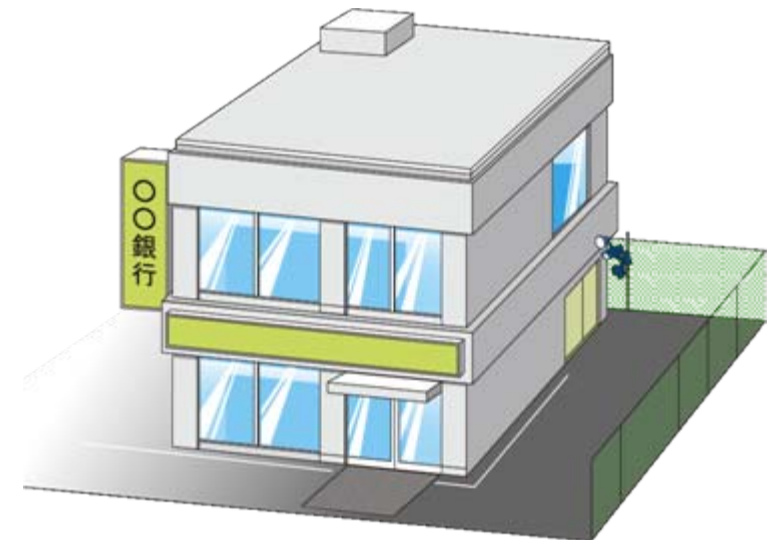
竹中エンジニアリング株式会社

汎用センサー事業部

残留者検知センサーの市場

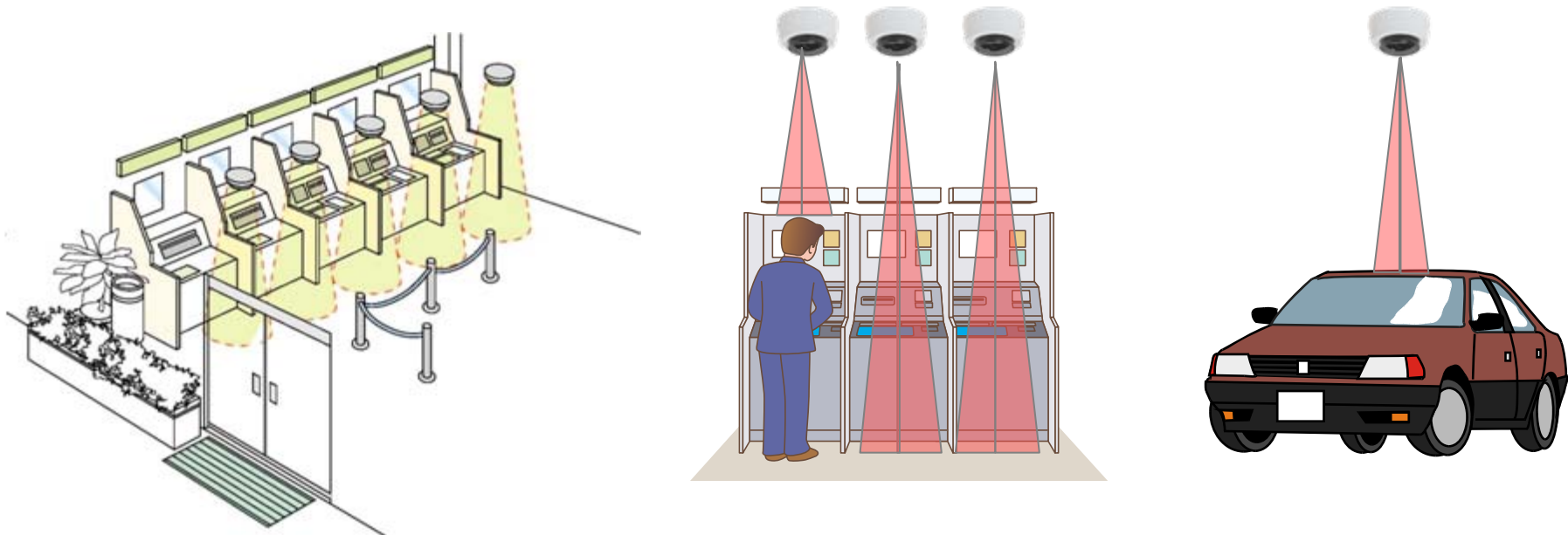
◆CD／ATMの稼働台数は全国の金融機関で、**およそ126,000台**(2012年度現在)あります。年間出荷台数は約20,000台(2008年度 JEITA調べ)で近年は大きな伸びはありませんが、今後はハイセキュリティ対応及び一定のリプレイス需要により、堅調な需要推移になると予測されます。

自動運行システムが未設置の銀行・郵便局・大型ショッピングモール等のCD／ATMブースへの設置、また現在設置されているセンサー機器の リプレイス をご提案致します。



概要

- ◆CD／ATMコーナーの残留者検知などに最適なセンサーです。
- ◆独自の技術(近赤外線による距離測定)で完全に静止している人体の検出も可能なため、“入退者検知”や“車両盗難検知”、“美術品盗難検知”など、アイデア次第で用途が広がります。
- ◆近赤外線方式ですので、パッシブセンサーでは警戒が困難であった、すきま風の影響がある風除室や、警戒エリア内に熱源が存在する箇所にも使用可能です。



残留者検知センサーの特長

1. 完全に静止した人体の検出が可能

- ◆距離を測定する方式のため、警戒エリア内の人体や物体の静止検出が可能です。
 - ・パッシブセンサー：静止検知不可
 - ・赤外線センサー：静止検出が出来ても、干渉や床面の汚れで動作が不安定（反射量を利用した従来方式）
 - ・超音波センサー：複数台使用時に干渉することがある

2. 近赤外線方式を採用

- ◆近赤外線方式のため、すきま風や騒音、振動の影響をほとんど受けません。

3. 床面までの高さを自動測定

- ◆電源を投入すると、床面までの高さを7本の赤外線がそれぞれに自動に測定し、初期設定を行います。
従来の近赤外線方式と異なり、赤外線の反射量でなく、距離を測定します。
そのため、人の姿勢や衣服の色に左右されず、安定した検出が出来ます。

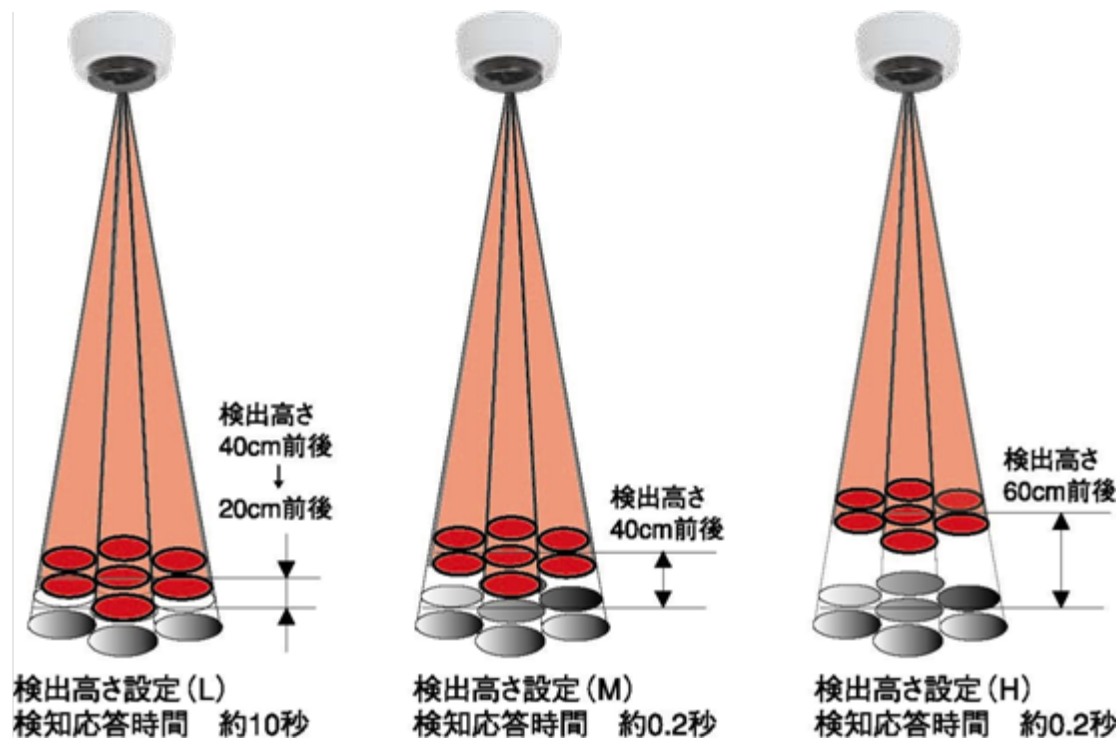
4. 相互干渉防止機能搭載

- ◆狭い間隔で隣接設置された際にも干渉することはありません。（8台まで）

残留者検知センサーの特長

5. 検出高さ以下の物体は検知しません

- ◆床面から検出高さまでを不感地帯にしてあるため、警戒エリア内に残留するゴミなどで誤検知することはありません。
- ◆設置環境に応じて、検出高さを切り替えることができます。(L/M/Hの3段階)



※設置できる高さは1～4mまで
対応が可能です。

適応オプション

◆埋込用アタッチメント【 BU-900 】

天井からの突出が僅か8mmとなり、優れた美観性を実現します。

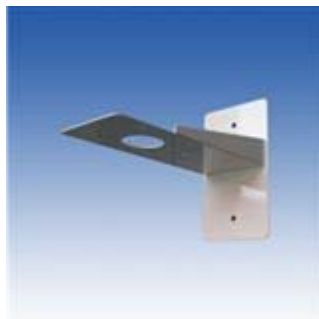


PR-900 + BU-900

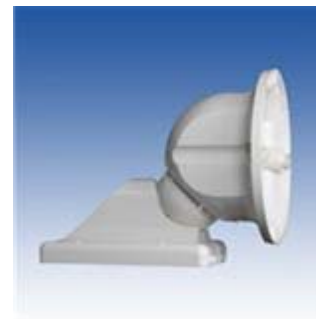
◆壁付け用アタッチメント【 BL-5000 】【 BCW-401 】

壁面に取り付けるためのアタッチメントです。

天井高さが4m以上ある際は、ご使用下さい。



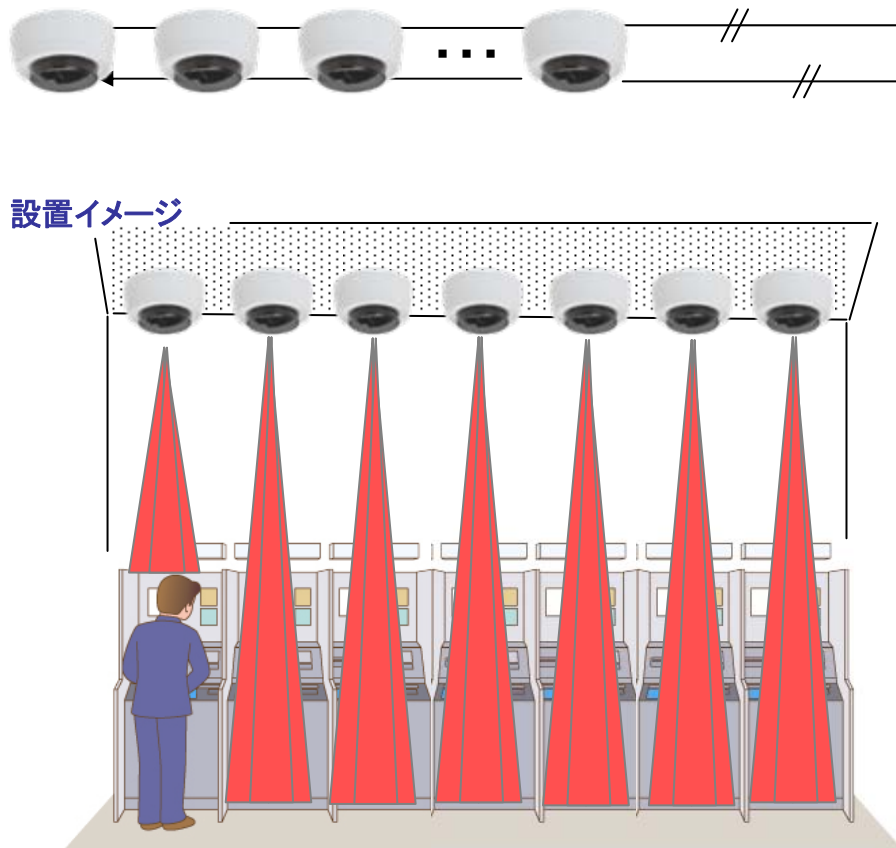
BL-5000



BCW-401

センサー機器設置例

残留者検知センサー
PR-900



CD/ATM自動運行装置
・外部制御入力等

端末制御機器
・電気錠制御機
・シャッター制御機等

直流電源装置
DC10.8~30V

AC-100V